

巨大地震から考える 建築・住宅のミライ

日本列島のなかでも、長野県はとくに自然災害が多発します。政府の地震調査委員会によると、糸魚川―静岡構造線断層帯の中北部は今後30年以内にM7.6程度の地震が起きる確率が最大30%。内陸部の活断層帯で最も高い数値となっています。安全な建築・住宅づくりは県民生活を守る基本中の基本です。

いま県土強靱化をめぐるさまざまな問題があるのでしようか。今回のセミナーは建築・住宅を取り巻く現在の技術環境や産業構造、行政システムを幅広い視野で考察し、全国に提言されている方々を講師にお招きしました。最先端の知見や論考を、長野県の建築士や工務店・建設会社の皆様とぜひ共有したいと思えます。



日時

8月29日(月) 12:50~17:40
(受付開始12:20) ※予定

場所

長野市バスターミナル会館

「地力」を高める4時間50分

当代きっての講師陣

12:50~14:05

大塚 勉氏

信州大学全学教育機構
教授(地質学)



我々が日々生活し、仕事をしている長野県とはそもそもどんな場所なのか。どんなとき何が起きるのか。本当に注意すべきことは何か。そのためにはまず足元の地域を知ることからはじめなければならない。強靱化の観点から長野の「地域性」を学ぶ。

14:10~15:25

五十田博氏

京都大学生存圏研究所
教授(工学)



兵庫県南部地震の衝撃から21年。新潟県中越、中越沖、能登半島、東北太平洋沖、長野県北部、神城断層、そして熊本―次々発生する大地震により木造建築の何が変わったのか。数多の被害を調査してきた研究者が最新知見をもとに木造の課題と今後をひも解く。

15:35~16:50

森山高至氏

CRA取締役
建築エコノミスト



最終的に建築・住宅の安全を担保する地域の設計者、工務店や建設会社、そして職人たち。だが、人手不足、高齢化、OJTの困難化、偽装問題の発生など不安の種が尽きない。「非常識な建築業界」(光文社新書)の著者が、建築業界を取り巻く問題と解決の処方箋を語る。

16:50~17:05

長野県建築住宅課

長野県耐震改修促進計画(第Ⅱ期)の概要

17:10~17:40

まとめ+質疑応答

コーディネート: 新建新聞

お問い合わせ

新建新聞社 建設メディア事業部事業企画課

〒380-8622 長野県長野市南県町686-8 TEL:026-234-2900

担当: 竹内・新保

詳細・申込は裏面をご覧ください。

2016年8月29日(月) 12:50~17:40 (受付開始12:20) ※ 予定

【会場】 長野バスターミナル会館・国際ホール(長野市)

【駐車場】 会場南側立体駐車場(2H無料チケット配布)

【主催】 新建新聞社

【定員】 120名 ※ 定員になり次第、締め切りとさせていただきます。

【参加費】 購読者 ※ 7,000円(税込)、非購読者 10,000円(税込)

※ 新建新聞、新建JOHO、新建ハウジングを購読されている方

【お支払い方法】 受付後に事務局からメールで振込先をご案内させていただきます。

プログラム(予定)

12:45 開会

12:50 「長野県の自然条件を再考するー地域性から考える減災・防災」

…大塚 勉氏(信州大学全学教育機構教授)

14:05 休憩(5分)

14:10 「木造住宅の耐震性能を再考するー安全な住まいはどのようにすれば可能か」

…五十田 博氏(京大大学生存圏研究所教授)

15:25 休憩(10分)

15:35 「建築業界の『非常識』を再考するー地場産業の力を再結集するために」

…森山 高至氏(CRA取締役)

16:50 長野県建築住宅課 長野県耐震改修促進計画(第Ⅱ期)の概要

17:05 休憩(5分)

17:10 まとめ+質疑応答 コーディネート: 新建新聞

17:40 アンケート記入、閉会

お申し込みはこちらから。 **FAX 026-235-8386**

セミナー「巨大地震から考える建築・住宅のミライ」

<http://www.shinken-news.jp/seminar/> からもお申し込みできます。

貴社名	
お名前	お役職
ご住所 〒	<input type="checkbox"/> 購読者価格(税込 7,000円) <input type="checkbox"/> 非購読者価格(税込 10,000円) ※該当する欄に✓印を記入して下さい
TEL	FAX
E-mail <small>(E-mailは受付通知、参加費お振込のご案内に使用させていただきます。記入内容はお間違のないようご注意ください。)</small>	
@	